

## 2022 年度第 2 回支部集会【北海道支部】

主催:公益社団法人 日本語教育学会

共催:北海道大学 高等教育推進機構国際教育研究部, 北海道日本語教育ネットワーク

日時:2022 年 7 月 9 日(土) 13:25-16:35(受付開始 13:00) [本催しのポスターはこちら](#)

会場:北海道大学 学生交流ステーション 2 階(〒060-0815 札幌市北区北 15 条西 8 丁目)

交通アクセス:<https://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/campusmap/>

※JR 札幌駅北口より徒歩 20 分, 地下鉄南北線「北 12 条駅」より徒歩 10 分

参加費:500 円 (マイページより事前参加登録時に支払い) 定員:70 名

申込方法:おおよその人数把握と受付での混雑回避のため, ご参加予定の方は, [学会ウェブサイト](#)のマイページから 7 月 6 日(水)までに事前参加登録をお願いいたします。事前参加登録について詳しくは, [こちら](#)をご覧ください。会場に余裕があれば当日参加も可能です。

問合先:公益社団法人日本語教育学会 支部活動委員会

E-mail:shibu@nkg.or.jp TEL:03-3262-4291(平日 9~18 時のみ)

### ◆支部集会日程◆

2022 年 7 月 9 日(土) 会場:講義室 207・208・大講義室 209	
13:00	受付開始(大講義室 209)
13:25-13:30	開会挨拶(大講義室 209)
13:30-15:00	ポスター発表・交流ひろば(講義室 207・208・大講義室 209)
15:30-16:30	ビブリオバトル「日本語教育にかかわる人におすすめの本」(大講義室 209)
16:30-16:35	閉会挨拶(大講義室 209)

### 閉会挨拶

【13:25-13:30／大講義室 209】

### ポスター発表

【13:30-15:00】

※本発表は査読審査を経た学会発表です。発表要旨は本プログラム p.3~, 詳細は予稿集原稿をご覧ください。

- ① 大学生による〈やさしい日本語〉コンテンツ作成の試み 【講義室 207】  
丸島歩(北海学園大学)
- ② 事態把握の明示的指導の効果—学習者の気付きについて— 【講義室 208】  
鄭在喜(早稲田大学)

## 交流ひろば

【13:30-15:00／大講義室 209】

※「交流ひろば」は、日本語教育とその関連領域の話題についての参加者相互の情報共有および同じ興味や問題意識を持つ者同士のネットワーク作りを目的としています。審査を経た学会発表ではありません。「交流ひろば」への出展は、学会員・非会員に限らずどなたでも可能です。

### ① 支援者への支援を目的とした、介護の日本語学習支援ブログサイトの開発例

中川健司(横浜国立大学)

外国人介護従事者への学習支援を行う支援者への支援を目的として、「介護の日本語 学習支援ブログ」サイトを開発しました。当日は、どのような内容の記事があれば支援者にとって有益か意見交換を行いたいと思っています。興味のある方はぜひお越しください。

### ② 反転授業による留学生対象オンラインビジネス日本語講座の実践報告

鈴木綾乃(横浜国立大学), 浦由実(フリーランス), 中川健司(横浜国立大学)

出展者らは「ヨコハマ・カナガワ留学生就職促進プログラム」の一環として、2021年6月および2022年2月にオンラインでビジネス日本語講座を行いました。この講座は、事前に出展者らが作成した動画を視聴し、その内容に基づいてディスカッションや応用タスクを行う反転授業の形式でした。本出展では、この実践例について報告し、留学生対象ビジネス日本語教育の効果的な方法について意見交換を行いたいと考えています。

## ビブリオバトル「日本語教育にかかわる人におすすめの本」

【15:30-16:30／大講義室 209】

ビブリオバトルは、本を5分で紹介するスピーチを聞いて、読みたくなった本に投票して「チャンプ本」を選ぶ「書評ゲーム」です。「日本語教育にかかわる人、興味がある人にぜひ読んでほしい！」という本をプレゼンターのみなさんが紹介します。新たな本との出会いもあれば、既読の本にも違う魅力を見いだして、また読みたくなるかもしれません。ぜひ、あなたの「読みたい本」に一票を！  
[\\*プレゼンターを募集しています。別紙ポスターの案内をご覧ください\(6月24日締切\)。](#)

## 閉会挨拶

【16:30-16:35／大講義室 209】

◆**コロナ感染対策について**◆ ご来場の際は、必ずマスク着用をお願いします。また、当日37℃以上の発熱がある方、風邪の症状や強いだるさ、息苦しさがある方、身近に新型コロナウイルス感染症の患者や濃厚接触者がいる方、政府が入国制限措置を設けている国・地域から日本へ入国後、14日間経過していない方、その他、体調に不安がある方のご参加はご遠慮ください。

〔2022 年度第 2 回支部集会(北海道大学, 2022.7.9)ポスター発表①〕

大学生による〈やさしい日本語〉コンテンツ作成の試み

丸島 歩

2021 年度の 1 年間をかけて、大学 3 年生を対象とした演習授業で〈やさしい日本語〉のコンテンツ作成をする活動を行った。前期のはじめの 4, 5 回は〈やさしい日本語〉の基本的な考え方や語彙, 表記, 構文などについて学んだうえで、それぞれのテーマを考え、個人やグループでコンテンツ作成を進めた。Web サイトなどそれぞれに合うプラットフォームも各々で選択した。学期末に受講生が〈やさしい日本語〉でのコンテンツ作成を通して何を学んだのかを明らかにするために、振り返りの感想文に対して質的な分析を行った。その結果、授業内であまり明示されていなかった「他者の立場」に関する記述がもっとも多く、日常なことばからの逸脱したアウトプットを通して、自分とは異なる背景を持つ人の立場を考えることに繋がっていることがうかがえた。

(北海学園大学)

〔2022 年度第 2 回支部集会(北海道大学, 2022.7.9)ポスター発表②〕

事態把握の明示的指導の効果

—学習者の気付きについて—

鄭 在喜

本研究は、事態把握 (construal) という認知言語学の概念を用い、日本語母語話者の事態の捉え方を明示的に指導した場合の学習効果について研究したものである。本発表における明示的指導とは、日本語母語話者が好む物事を主観的に捉える傾向を、その状況の人物に注目する、とりわけ人物の感情に注目することを強調して行うことである。

調査は「授受表現・受動表現・ナル表現」の 3 つの項目のミニ作文と学期末のレポートのテーマを分析して行った。

その結果、誰の視点からその状況を語るのかによって言語表現、例えば「一てもらう」か「一てくれる」、「能動」か「受動」、「する」か「なる」を選択しなければならないという気付き、そして日本語母語話者がナル表現を好む理由が事態の捉え方と関連していることに気付いていることが窺われた。こういった気付きから、文法を一つの言語表現として理解し始めたことが窺われ、その明示的指導の効果が見られたと考える。

(早稲田大学)